

令和3年度福建通常総会を開催

令和3年度福島県建設技術協会通常総会は、6月11日(金)に開催されました。

令和2年度事業及び収支決算報告並びに会計監査報告、令和3年度事業計画及び予算について審議が行われ、原案のとおり承認されました。

また、令和3年度役員は、規約に基づき前役員より推薦いただいた次の方々を選出されました。

会 長	福島県土木部次長(企画技術担当)	長嶺 勝広
副 会 長	福島県土木部河川計画課長	鍋野 浩和
	福島県土木部建築指導課長	星 剛
	福島県相双建設事務所長	河合 利広
	福島市建設部長	林 和良
会計監事	福島県南会津建設事務所長	大竹 和彦
	福島県土木部都市計画課長	草野 秀夫

◆ 令和3年度事業計画を承認

令和3年度事業計画が下記のとおり承認されました。

1 組 織 部

- (1) 会員名簿の作成
- (2) 全建長期会員表彰者の推薦
- (3) 福建会員管理
- (4) 会員顕彰
- (5) 福建「功労賞」表彰
- (6) 退職者を励ます会
- (7) 東北地区建設技術協会連合会 広報・技術研鑽奨励賞の報告

2 調 査 部

- (1) 技術力向上に関する支援
技術資格取得支援金、体験感謝礼、アドバイザー謝礼等

3 事 業 部

- (1) 方部別助成
方部別開催事業の助成、震災復興に関する活動
- (2) 文化事業方部助成
地域貢献、ボランティア活動への助成

4 編 集 部

- (1) 機関誌発行 建設ふくしまNo142の発行
建設ふくしまニュースNo83の発行

5 研 修 部

- (1) ふくしまの未来を拓く業務発表会

6 事 務 局

- (1) 「伝承プロジェクト」の実施

◇ 令和2年度 全建表彰 ◇ (令和2年度役職)

- 1. 小 沢 賞…安田 博道 氏
(福島県土木部技監)
- 2. 東北地区 …小川 辰壽 氏
建設技術協会 (福島県土木部次長(企画技術担当))
連合会長賞 芦野 英明 氏
(福島県土木部次長(河川港湾担当))
新関 永 氏
(福島県土木部次長(建築担当))
- 3. 全建功労賞…鈴木 秀人 氏
(福島県土木部河川計画課長)
加藤 保浩 氏
(福島県県南建設事務所長)
小野寺 豊 氏
(福島県土木部道路計画課長)
秋田 喜代司 氏
(福島県企業局工業用水道課長)



全 建 賞 受 賞 報 告

東日本大震災の復旧・復興が本格化し、復旧・復興関係事業の応募が年々増加していることから、平成26年度全建賞より、通常とは別枠として新たに「特別枠」が設けられ、令和2年度は本県より特別枠3件が受賞しました。

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠〕

＜事業名＞ 原釜尾浜防災緑地整備事業
＜受賞機関＞ 相双建設事務所

東日本大震災に起因する大津波により家屋流出など甚大な被害を受けたため、道路・港湾事業と一体的に整備することで、原釜尾浜地区の安全性を確保し、相馬市施行の防災集団移転事業、公園事業とともに、地域振興やにぎわいを創出できるよう、ソフト・ハードの両面から総合的な防災力が高い復興まちづくりを目指した。

公設土取場からの盛土材の確保によるコスト削減を図ったほか、防災緑地の計画づくりにあたっては、平成25年度より地域住民の方々と交えたワークショップを開催し、施設の配置や利活用等について意見交換を行い策定した。



＜事業名＞ 東日本大震災・原子力災害伝承館整備事業
＜受賞機関＞ 相双建設事務所

地震、津波、原子力発電事故の複合災害の記録と教訓を後世に伝えるとともに、復興に向けて力強く進む福島県の姿や、これまでの国内外からの支援に対する感謝の思いを発信することを目的とする博物館。

躯体の配筋や高強度コンクリートの打設、特殊な形状の鉄骨工事など、意匠性と機能性を確保した。また、螺旋状のスロープを採用したプロローグシアターなどの展示空間はもとより、広く明るいテラスやエントランスホールなど、語り部が活動しやすい場とすることにより、本県特有の原子力災害を含む複合災害を若い世代へと継承する場となっている。



＜事業名＞ 大熊町大川原地区災害公営住宅等整備事業（第2期）
＜受賞機関＞ 大熊町、福島県（建築総室）

原子力災害により避難を余儀なくされた大熊町民や新たに町へ移住される方々が、安心して暮らしながら、新しいコミュニティを構築できる居住環境とするため、第1期に引き続き、災害公営住宅42戸を整備。

大川原地区の中央に位置し、既に居住している「第1期事業区域」及び「医療・福祉施設」、生活に必要な施設の整備が予定されている「業務施設」に囲まれており、日常のさまざまな移動の通り道・交差点となることから、東西南北それぞれから自由にアクセスができ、団地中央に広場を設けることで、入居者、他エリアの住民、来町者など多様な人々とのコミュニティが形成され、にぎわいが創出される交流の場となるように考慮した。

また、各住戸には広場や道路に面したベンチやデッキを設けることで、入居者と地域がつながり、コミュニティやにぎわいが生まれやすい計画とした。



小 沢 賞 受 賞

福島県土木部技監 安田 博道 氏

昭和59年に入会以来、卓越した行動力と指導力により建設行政に顕著な業績を上げるとともに、豊富な見識と経験をもって後進の育成に力を尽くされました。

道路行政においては、道路災害発生時の早期復旧に数多く携わられたほか、豪雪災害を踏まえた除雪出動基準の見直しなど、本県道路の安全性向上と、業務の効率化に向けた「施工パッケージ型積算方法」の導入や、技術力向上のため「実務的研修」を導入するなど、県内技術者の技術力向上に大きく貢献されました。

◆事務局◆

(福島県土木部道路総室 TEL 024-521-9820 FAX 024-521-7951)

- ・ 事務局長 佐藤 光彦 (道路整備課 主幹兼副課長)
- ・ 副事務局長 服部 典之 (道路整備課 主任主査)
- ・ 書記 石川 和彦 (道路管理課 主査)
- ・ 総務 加澤 卓 (道路計画課 副主査)
- ・ 会計 成田 雅幸 (道路管理課 副主査)
- ・ 庶務 阪路 英史 (高速道路室 副主査)
- ・ 事務局 遠藤 季代子

◆編集部◆

(福島県土木部まちづくり推進課 TEL 024-521-7511 FAX 024-521-7956)

事務局よりお知らせ

会費について

●正会員 月会費700円(全建320円+福建380円)

●準会員 年会費(4月1日現在)80歳未満5,000円、80歳以上2,000円
納入方法は、「銀行振込」または「事務局へ持参」のどちらかでお願
いしております。

「銀行振込」の場合

振込銀行口座：東邦銀行県庁支店 普通口座 No.1719

福島県建設技術協会 会長 長嶺 勝広

*手数料はご本人の負担となります。

*準会員の方は、必ずご本人のお名前でお振り込みください。

「事務局へ持参」の場合

事務局所在：福島市杉妻町2-16 県庁土木部道路整備課内
(本庁舎4階) 事務局員 遠藤季代子

